

◆ 平成29年度 活動報告シート ◆

団体名：認定 NPO 法人 川口市民環境会議

20A-14

代表者：代表理事 浅羽理恵

URL :

1. 活動が必要とされた状況

子ども環境フォーラムは、川口市内の小・中・高校生を対象とした環境活動の発表の場として毎年開催しています。川口市は市街地と郊外地区とは自然環境が異なり、それぞれの地域特性を生かした環境活動が行われており、それぞれの活動報告を聞く中で活動の体験を共有していくことが大切だと考えます。また、発表の場があるということで、子どもたちの日々の活動の励みになるとの担当教員からの声もあります。活動発表後は環境をテーマとしたワークショップを行います。このワークショップには地域や職場で環境活動を実践している方々に講師として参加していただき、交流を深めています。ワークショップでは身近な自然を観察したり、廃棄物を用いた工作や、エコクッキングなど環境と関連した遊びを当日参加した児童、生徒と楽しみながら体験し、生活の中での環境とのかかわりに気付く場を作ることも必要です。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

実施時期 2017年9月16日（土）

実施場所 川口市立幸町小学校

参加人数 約160名

活動内容 環境活動発表 7グループ

ワークショップ体験 10グループ



3. 活動の成果

これまでは比較的的自然環境に恵まれた地域での開催が多く、今年は駅に近い市街地での開催となり、自然観察などのワークショップの開催が危惧されましたが、市街地での特色を生かしたワークショップができました。例えば「どこんじょう草花をさがせ」などコンクリートの隙間や、街路樹、商店街の鉢植えなど探せば緑は見つけれ、人は緑を欲していることが実感できました。参加者も多く、例年、心待ちにしてくれている児童たちや、環境活動に取り組んでおられる教員の方たちの応援にもなっているようです。継続的な活動は年々後輩に受け継がれていて、楽しみです。



4. 今後に残された課題

開催日が土曜日、または日曜日となるため開催学校を確保するのが年々難しくなっています。開催学校を確保できても、学校行事ではないため開催校の教員や児童の参加数が少ないのが残念です。発表者も継続的に取り組んでいる学校や、一部の熱心な先生方に負うことが多い現状です。今後は、開催場所を学校に限定せずに公民館やその他も検討していく必要があると思われます。また、NPO や協力してくれるボランティアが高齢化しており、継続していくためには人材の確保も必要です。